

令和7年1月27日

仙台赤門医療専門学校
校長 安齋 昌弘 殿

学校関係者評価委員会
委員長 吉村 敏之

令和6年度 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会は「令和5年度 学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いました。別紙のとおり評価結果を報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 吉村 敏之 (教育関係 : 宮城教育大学大学院教授)
- ② 宗形 明子 (卒業者関係 : 昭和59年 鍼灸指圧科卒業
元治療院・院長)
- ③ 押切 悦男 (学識経験者 : 税理士)
- ④ 原田 淳 (保護者関係 : 接骨院 院長)
- ⑤ 相澤 光哉 (地域関係 : 元宮城県議会議員・議長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和6年11月26日(仙台赤門短期大学 5F 会議室)
- 第2回委員会 令和7年1月27日(仙台赤門短期大学 5F 会議室)

以上

学校関係者評価委員会は「令和5年度 学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いました。

令和7年1月27日

(署名)

吉村敏之

宗形明子

相沢光哉

押切悦男

原田淳

教育の理念及び教育目標について

- ・仙台赤門短期大学 鍼灸手技療法学科の設立を計画していることは評価できる。

本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画について

- ・昨年同様。適切である。

各評価項目について

(1) 教育理念・目標について

- ・学外への学校の理念等の周知については、より一層ホームページ、SNS等の活用を進めてほしい。

(2) 学校運営

- ・学校の理念等が学生に周知されていることは評価できる。
- ・教職員間の情報共有や学生の課題提出等において、コンピューター等のシステムの活用していることは評価できる。

(3) 教育活動

- ・毎月、教職員会議を実施しており教職員間の意見交換、意思決定をしていることは評価できる。
- ・教職員会議での意思決定を非常勤講師等にも連絡していることは評価できる。

(4) 学修成果

- ・クラス担任の2人配置を計画していることは評価できる。
- ・卒業生と在校生の繋がりを持つため、卒業生セミナーを計画していることは評価できる。
- ・ホームページに卒業生用の欄を開設し、卒業生の繋がりを持つようとしていることは評価できる。

(5) 学生支援

- ・学生相談において、スクールカウンセラーによるカウンセリングを行っていることは評価できる。
- ・同窓会主催の研修会に、在学生の参加を促していることは評価できる。
- ・鍼灸マッサージ東洋医療科が専門実践教育給付制度の対象であり続けていることは評価できる。

(6) 教育環境

- ・昨年同様。適切である。
- ・全校舎内照明器具をLED照明にしたことは評価できる。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・会場ガイダンスや高等学校の校内ガイダンスの参加回数・オープンキャンパスの来校者数が増加したことは評価できる。
- ・学生の受け入れ募集にさらなる努力を期待する。

(8) 財 務

- ・あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師教員免許取得者が専門基礎科目及び専門科目の授業を担当することで、人件費比率の改善を図っているのは評価できる。

(9) 法令等の遵守

- ・昨年同様。適切である。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・スポーツ大会等での救護や献血活動などの社会貢献活動をよく検討し、実施してきたことは評価できる。

(11) 国際交流(必要に応じて)

- ・昨年同様。適切である。